

令和2年第2回市議会定例会

市長提案理由

議第88号

(令和2年6月29日提案)

ただいま上程されました「議第88号 令和2年度別府市一般会計補正予算(第5号)」の概要について御説明いたします。

新型コロナウイルス感染症対策関係経費が盛り込まれた国の一般会計補正予算(第2号)が成立したことに伴い、本市における感染症対策を実施するための補正予算を編成いたしました。

今回の補正予算であります、一般会計の補正額は、3億7,470万円の増額で、補正後の予算額は698億2,870万円となります。

その主なものといたしましては、民生費では、休業等により収入が減少し、住居を失う恐れがある方に対して支給する「住居確保給付金」について、支給要件の緩和により申請者が増加したことに伴い、追加額を計上しています。また、低所得のひとり親世帯に対し、感染症の影響による子育て負担の増加や収入の減少に対する支援を行うため、「臨時特別給付金」を支給する経費を計上しています。保育所、認定こども園、放課後児童クラブなどの児童福祉施設等においては、安心して継続的なサービス提供が図られるよう、マスクや消毒液等の感染防止用品を確保するための経費を計上しています。

教育費では、学校における感染リスクを可能な限り低減し、学校運営を継続するために必要な経費を計上しています。

各小中学校が置かれている状況を踏まえ、人的・物的な側面から感染症対策を講じることとしており、人的な対策としては、臨時休校の長期化による学習の遅れが心配されている中、学習内容の定着が不十分な児童生徒に対し、個別にきめ細かに対応するための「学習指導員」を配置するとともに、教員が子どもたちの学習指導に注力できるよう、感染症対策等により負担が増している教員の業務を支援する「スクール・サポート・スタッフ」を配置することとしています。物的な対策としては、マスクや消毒液等の感染防止用品を確保するとともに、夏季における給食調理員の熱中症対策に必要な物品を配備することとしています。

感染症の長期化を見据え、次なる波に備えるとともに、市民の皆様が安心して日常生活や事業活動を本格的に再開することができるよう、しっかりと対策に取り組んでまいります。

以上で、提出いたしました議案の説明を終わります。

何とぞ慎重審議の上、よろしくご説明申し上げます。